

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	国民体育大会事業	会計名称	一般会計		担当課	国体推進課	
		予算科目	2 款 1 項 17 目	事業番号	5215	所属長名	山岡 慎司
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	中塚 正洋	
法令根拠等	スポーツ基本法 (施行令含む。)、国民体育大会開催基準要項 (細則等含む。) 等				実施期間	【開始】	平成 25 年度
総合計画での位置付け	生涯教育都市の創造 誰もが親しめるスポーツ・レクリエーションの振興					【終了】	平成 29 年度 (予定) <input type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	愛媛国体を契機に、市民のスポーツへの関心を高め、生涯スポーツの推進が図られる。						
事業の対象	一般市民、競技団体、都道府県選手団			事業の目的	愛媛国体伊予市開催競技の円滑な運営に係る準備及び実施のため、競技別リハーサル大会を開催する。		
事業の内容 (整備内容)	愛媛国体の開催に向けて、伊予市開催競技会の円滑な運営に係る準備及び実施			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27 年度実績	28 年度予定	9月末の実績	28 年度実績	
直接事業費	27,011	49,039	0	2,370	0	51,404	総務企画事業	式	1	1	0.5	1	
財源内訳													
国庫支出金		0	0	0	0	0							
県支出金		15,409	0	0	0	0							
地方債		0	0	0	0	0	競技式典事業	式	1	1	0.5	1	
その他		0	0	0	0	0							
一般財源	27,011	33,630	0	2,370	0	51,404	宿泊衛生事業	式	1	1	0.5	1	
職員の人工 (にんく) 数	5.00	9.00				9.00							
1人工当たりの人件費単価	8,042	8,086				8,086							
※ 直接事業費+人件費	67,221	121,813				124,178	交通警備事業	式	1	1	0.5	1	
主な実施主体	愛顔つなぐえひめ国体伊予市実行委員会直接実施 (嘱託職員1人を含む。)		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		愛顔つなぐえひめ国体伊予市実行委員会 (国体実行委員会負担金)								
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	5年間の合計			
					154,015	0	0	0	0	154,015			
成果指標	指標	実績/目標×100	単位	⇒	区分年度	27 年度	28 年度	- 年度	目標 29 年度				
	指標設定の考え方	各競技会運営に必要な準備事業の実施状況を指標とする。			目標	1	1		1				
	指標で表せない効果												

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		今年度開催された3つの競技別リハーサル大会を検証し、来年度開催のえひめ国体に向けた準備を行うこととする。										
事業	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	リハ大会を開催して、一定の課題、問題点の把握、検討することが出来た。特に、雨天、荒天時の大会運営を経験したのは大きな成果と捉える。また、予算上、大きな割合を占める会場設営の業務委託については、3競技中2競技で実施したが、設営時間・期間、人役、借上物品の質、官公庁への諸手続事務、会場設営の出来栄え、業務への対応などを見る限り、費用対効果は大きいと認められるため、次年度は全ての競技で委託すべきと思われる。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	4							
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4							
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。	4							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	3							
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	4								
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4								
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	3								
	の	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			S	事業の方向性 所屬長の課題認識	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 平成29年度は、第72回国民体育大会及び第17回全国障害者スポーツ大会年度となる。市民総参加で感動と魅力あふれるえひめ国体・えひめ大会を目指す。
				社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	5						
				市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	5						
有効性			事業の効果	5 4 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。	5							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	5							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	5							
効率性		手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	5								
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	5								
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	5								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 平成29年度が、第72回国民体育大会及び第17回全国障害者スポーツ大会の開催年度となるため、一次評価の とおり、リハーサル大会の反省点を踏まえ、全庁体制で大会の円滑な運営に万全を期すとともに、市民総参 加のおもてなしによる本市の魅力と感動にあふれる大会をめざす。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
------------	------	-------------------------------------------

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する。	コメント欄 二次判定の内容を踏まえ、さらに重点化すること。
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。		
	<input type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。		
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を行う。		
	<input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を行う。		
	<input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を行う。		